

2024年8月28日
東京海上日動火災保険株式会社

代理店への当社出向者による情報漏えいに関するお詫び（その2）

東京海上日動火災保険株式会社（取締役社長：城田 宏明、以下「当社」）は、乗合代理店における情報漏えいに関する一連の調査において、保険代理店・株式会社ライフプラザパートナーズ（以下「LPP 社」）に出向していた当社社員が LPP 社で取り扱う他保険会社のお客様の契約情報等を当社へ漏えいさせていたことが判明しました。併せて、当社が他保険会社の情報を LPP 元社員から受領していたことも判明しましたのでご報告いたします。お客様をはじめ関係者の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社は7月22日に金融庁の報告徴求命令を受領※していますが、乗合代理店における情報漏えいを重く受け止め、全容を解明するとともに、真因究明・再発防止を図ってまいります。

※2024年7月23日：金融庁による報告徴求命令の受領について

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/240723_01.pdf

<情報漏えいの規模>

- ・当社出向者による他社契約情報：約1.9万件（本日時点）
- ・LPP元社員から当社が受け取った他社契約情報：約4.2万件（本日時点）
（現時点で、情報の二次漏えいは発生していないことを確認しております）

<漏えいが確認された個人情報等>

契約者（被保険者）の氏名・住所・電話番号・生年月日、証券番号、保険種類、保険始期・満期、保険料・保険会社名等
（現時点で、センシティブ情報の漏えいは確認されていません）

<情報漏えい発生期間>

2018年11月～2022年12月

<漏えいした情報の用途>

LPP社における各保険会社のシェア・当社ポジションの確認およびLPP社の営業拠点に対する支援体制など当社社内体制の検討等

以上